

水 産 資 源 調 査

I 調査目的

沿岸漁業の対象となる重要浮魚資源の現状を評価しその変動機構を解明するとともに漁業生産の合理的体系を明らかにし、漁海況予報事業の精度を高めるための資料である生物学的情報を求め、200海里水域内資源調査の成果を高める。

II 調査内容

1. 調 査 期 間 昭和53年4月～同年12月
2. 調 査 場 所 鰺ヶ沢町，青森市，後潟
3. 担 当 者 主任研究員 沢 田 兼 造 技 師 林 義 孝
4. 調査項目及び方法
 - (1) 漁 況 調 査 鰺ヶ沢はスルメイカ，青森市後潟はイワシ類，アジ，サバ，スルメイカの調査
 - (2) 多 項 目 調 査 体長，体重，性別，生殖腺重量，肥満度，胃内容重量および種類，年令，パンチング調査

III 調査結果

1. 漁 況 調 査 (53年1月～10月県統計)
 - (1) マ イ ワ シ……109.838 トンで昨年同期の3.2倍
 - (2) ウ ル メ イ ワ シ……昭和36年をピークとして漸減状態にあり本年は各地とも漁獲皆無であった。
 - (3) カ タ ク チ イ ワ シ……1.874 トンで昨年同期の2.2倍
 - (4) マ ア ジ……14.5 トンで，昨年同期の2.9倍
 - (5) ス ル メ イ カ……58.641 トンで，昨年同期の1.2倍
 - (6) マ サ バ……214.219 トンで，昨年同期の1.9倍
2. 魚 体 調 査
 - (1) マイワシ(後潟)
 - A 体 長……8.0～22.5 cmの範囲に分布し，モードは5月，6月の19.0 cmが最大で12月の9.5 cmが最小
 - B 体 重……10～125 gの範囲に分布
 - C 肥満度……8.0～15.5の範囲に分布

D 生殖腺……5月～6月中旬までは（平均）1～5 g のものが出現しているが，7月以降は1 g 以下となり，最大は5月8日の10.4 g であった。

E 年 令……5月から11月上旬までは（平均）1～3才のものが出現しているが，12月5日には0才が出現している。

(2) カタクチイワシ（後潟）

A 体 長……5.5～17.0 cm の範囲に分布し，モードは5月の15.0 cm が最大で，11月の7.5 cm が最小。

B 体 重……2～46 g の範囲に分布

C 肥満度……4.5～13.0 の範囲に分布

D 生殖腺……5月～6月までは（平均）2 g の個体が多く，7月以降は1 g 以下であり，最大は5月25日の雌2.6 g であった。

E 年 令……5月25日に調査した20尾は2才魚であったが，6月以降は1才魚以下の個体が多くなった。

(3) マアジ（後潟）

A 尾又長……6～15 cm の範囲に分布

B 体 重……3～56 g の範囲に分布

C 肥満度……8～8.0～20.5 範囲に分布

D 生殖腺……幼魚のため生殖腺が認められず雌雄不明

(4) スルメイカ（後潟）

A 外套長……4～21 cm の範囲に分布

B 体 重……10～270 g の範囲に分布

C 生殖腺……未熟群が主体で，1 g 以下の個体が多かった。12月27日に雄1尾半熟個体があった。

D 胃内容……胃内容物種類はイワシ，（小魚）が多く，その他イカ類，テミスなどであった。最大胃内容重量はイワシを摂餌していたときの7.5 g である。

(5) マサバ（後潟）

A 尾又長……11～32 cm の範囲に分布し，モードは6月の26 cm，27 cm 最大で，9月の16 cm が最小。

B 体 重……30～310 g の範囲に分布。

C 肥満度……8.5～14.0 の範囲に分布。

D 生殖腺……6月14日の多項目調査30尾の雌雄判別がついたほかは，若令魚で雌雄不明であった。

※詳細については「53年度沿岸重要資源委託調査報告書」を参照ください。